

児童発達支援 自己評価結果表

公表日：令和2年 3月 7日

事業所名： クレールハウス垂水教室

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できています。	*知識がないので分からないが整理されていて広々としたイメージ *狭い空間の中だ、うまく確保できていると思います。	整理整頓を心掛けていきます。	
	2	職員の適切な配置	適切な配置できています。	*知識がないので分からないが、適切に感じる。 *知識がないので分からない。	引き続き定員に応じた職員配置を行います。	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動時にはルールを説明し個別支援時には空間を仕切り視覚刺激の少ない環境で行っている。お子様に合わせて分かりやすい表示を行い、構造化に努めています。	*バリアフリーであると思う。	特性に応じて引き続き適切な環境で行っていきます。	
	4	清潔で心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	玩具や触れる物には、毎日消毒を行っています。	*ホームページのブログなどをみてみると、楽しく過ごしている様子が伺える。 *清潔に保たれている。	清掃チェック表を利用し、室内を清潔に保つ事に努めます。	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	書面と口頭にて、職員全員で情報共有する事に努めています。月1にて職員会議で見直しや適切な支援について会議をしています。		引き続き療育や業務について振り返りを月1で行い情報の共有や課題を話し合っていきます。	
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1月に神戸市実地指導あり。			
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	現在参加はできていません。		より広い分野への研修に参加し、知識・技術・接遇の研鑽向上を怠らず、日々の支援に真摯に取り組んでいきます。	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用開始または、個別支援計画更新時には面談を行い保護者や子供の希望を聞き取り踏まえ上で支援計画を作成しています。	*課題に対してどのような事をしていくか具体的に示してもらっている。	引き続き、アセスメントを適切に行い支援計画を作成していきます。	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントシートや基本情報の確認シートを活用し適切なアセスメントができるように取り組んでいる。	*行われていると思う。	引き続き、モニタリング等でお子様にとって適した方法を模索しながら個別活動と集団活動を組み合わせて、個別支援計画の作成・変更を行っています。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	明確な目標設定と、達成までの時期の目安を具体的に記入し、記載しています。	*されていると思う。 *個別にもう少ししてもらえたら嬉しいと思う。	苦手な作業の克服と得意な事を伸ばしていく事のバランスを考えながら具体的な計画を立て、保護者の方に説明・了承を得た上で療育に取り組んでいきます。	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	管理者の指導、計画を確認し適切な支援が実施しています。		それぞれのお子様に応じた支援内容を確認し療育に取り組みながら、当日の利用者様に柔軟に対応していきます。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員でねらいや療育内容を確認するとともに、毎日のリーダーを決めお子様の様子を把握できるような体制作りをしています。		引き続き、職員全員に伝達・理解を深めていきます。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は主に個別支援や休日は集団プログラムなどその日の様子や状態を見極め行っています。		利用人数に応じ、お子様に負担のかからない療育内容を取り入れています。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月案・活動予定表を作成し、現状や成長に応じて活動内容や季節に応じた活動を行っている。	*予定表がいつも楽しみです。 *曜日でもかぶらないように工夫されていると思います。 *イベントや行事やクッキングなど市外の公園へも連れて行ってもらえて助かります。 *いつもアイデアにあふれた楽しい学びをしてくれています。 *様々なプログラムをもらえている。	引き続き、子供たちの状況や成長に応じ対応。また季節に応じた活動を実施していくと共に活動の幅を広げていきます。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日のリーダーを決め療育への役割分担し内容や分担の確認を行っています。		引き続き毎日のリーダーや役割・確認を行っています。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員全員で、お子様の様子や目標の達成度やプログラムの時間配分や動線、設定の難易度等の振り返りを行っています。		職員間で会議する機会を設け情報の共有化を図り、今後の療育に活かしていきます。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録を記入しながら活動の振り返りと課題を確認しています。		お子様の成長や課題を的確に把握していきます。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	課題や目標の達成度の確認や支援の振り返りを行っています。必要に応じて、保護者のご意見を参考に支援計画の見直しを行っています。		6ヶ月に1回、保護者様との面談を行い意向や子供の発達を踏まえ見直しを行いより適切な支援を行っています。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	未実施		開催される時は今後可能な限り参加していきます。
		2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		必要あれば今後検討していきます。
		3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		必要あれば今後検討していきます。
関係機	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間の支援内容等の十分な情報共有	必要な場合、利用者からの希望に応じて対応。		数名のご利用者様 園との連携を行い情報共有を行う。引き続き連携し情報共有を行います。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に對するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、				

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関との連携	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	未実施		専門性を高める為、必要な研修には参加していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	未実施	*まだ体験したことがないため	地域の幼稚園や地域の行事に参加し交流を大切に今後取り組んでいきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	未実施		機会があれば情報提供をしていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	変更時など説明をしていく。 一日の支援内容など都度説明。		支援の内容、利用者負担等を保護者の方と共通理解できるよう丁寧に説明していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画の見直しを行い、必要な児の目標を設定しなおし保護者に説明していく。		引き続き、支援計画を保護者と確認しながら説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在、実施していません。		今後、保護者の方へ希望する研修内容や日々の困り事等、丁寧に聞き取りを行い、実施を検討します。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時など出来事や課題支援内容などを話しするようにしている。	*送迎時にしてもらっている。 *送迎時に「今日はこんな事ができた」とか教えてくれて助かっています。 *相談に常についてくれます。 *もう少し会って話す機会がほしい。	保護者と共通理解が得られるようにより丁寧な説明を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡をとりあったり、送迎時にお話をするなど心掛けている。		保護者様からの悩みや相談があった際には職員全員で話し合い適切な助言を行い、保護者様の不安軽減に努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者支援も大きな目標の一つではあるが保護者同士の交流する取り組みを始めたところである。	*3月に行われる。 *親も交流会も考えてくれています。 *保護者との関りを持てる場がもう少しほしい。	今後も保護者同士の交流が持てるよう企画していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応については、発生当日に保護者と面談をとり対応していく。	・今までそのような状態になってない。 *何かあれば改善してもらえていると思う。	苦情対応マニュアルに従い迅速に対応する。主訴を明確にし、問題解決しえいきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	十分に保護者と時間を確保できていないため要望があった際話し合う場を設けていく。	・送迎時にその日の様子を教えてもらえる。 *されている	今後話し合う場がもてるよう取り組んでいきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	月1回予定表・行事の配布し活動内容を各ご家族様へ配信している。	*ホームページが更新されている。 *ホームページの更新が減ったように思う。 *活動内容をもう少し知ることができるようになってほしい。	引き続き更新を行い、活動内容を発信していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時個人情報取り扱いの説明を行い、同意をもらっている。	*されていると思う。	引き続き、個人情報の取り扱いについて厳重に取り扱っていきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	避難場所については、手紙を配布している。	*対応してもらえていると思う。	保護者様へお手紙配布しているが、年1回 緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルをお伝えし周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回以上防災や地震の訓練を行い、職員は消火器の取り扱い訓練を行っている。		避難訓練実施後は、その月の予定表に記載し保護者の方に周知していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発普及するための研修を年1回以上実施している。		引き続き、定期的な研修を実施していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をしない。		現状継続。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当なし		引き続き、契約時の書面確認を怠らず事故の発生を未然に防ぐ事に努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	業務日誌にヒヤリハットを記入、月1会議を行い職員全員で情報を共有。		子供達が安全に過ごしているかヒヤリハットを通して職員で情報を共有し、改善点・配慮すべきことを確認する。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		*喜んでいます。 *日によってムラがありますが、楽しく通っています。 *居心地の良い場所で楽しんでいます。 *ムラがあるが先生の事が好きと言っています。 *子供が楽しみにしています。 *毎回楽しみにしています。 *とても楽しみにしています。	
	2 事業所の支援に満足しているか		*満足しています。 *とても手厚くしていただけて感謝しています。 *親も安心しています。 *日に貴い成長が何えとても感謝しています。 *都合で早くお迎えの相談をした際も、受け入れてくれ *とても助かり感謝しています。 *とても満足しています。 *いつもありがとうございます。	